

# 地域協働学校だより

令和7年12月17日

第9号

新宿区立市谷小学校

地域協働学校運営協議会

地域協働学校運営協議会から、3年生と2年生の地域を訪問した学習の引率及び6年生の模擬選挙についてご報告いたします。

## 3年生 地域安全マップを作ろう！

11月25日（火）3.4校時、3年生が各クラス6グループに分かれ、各班内で役割分担して見学しました。

「防犯カメラがあるね」「カーブミラーがこんなところにあるね」「公園の繁みでよく見えないところがあるね」「塀にひびが入っている」「消火栓がここにも！」と、危険なところや知っておくとよいと思うことや気になるところをタブレットで写真に撮りました。また、自分たちの地図にメモを取っていました。道程に工事中の場所が何か所かありましたが、引率者から「トラックなどの出入りもあるから、歩く時は気をつけた方がいいですね」などのアドバイスをいただいていました。雨が降ってきたので30分ほど早く学校に戻りましたが、しっかり見学したことやその記録について共有していました。

## 2年生 まちたんけん

11月27日（木）3.4校時、2年生による「まちたんけん」の引率をいたしました。

毎年多くの施設（牛込郵便局・ドラッグストア・いずみや・矢来能楽堂・牛込警察署・印刷会社・牛込一中・牛込三中など）にご協力いただいております。3クラスをいくつかのグループに分けて訪問させていただきました。各グループは最初の挨拶・写真係・終わりの挨拶など一人一人役割をもって臨んでいました。また、事前に質問などを決めて準備し



ていたようです。ドラッグストアでは、たくさんの品物を扱っていて興味津々でした。店名の由来を尋ねると、「健康を意味する『well』と国を意味する『cia』を組み合わせたことば（造語）で、『地域のお客様の健康をサポートする拠点』となることを目標にしている」と丁寧に説明いただきました。

「商品全部の名前は憶えているのですか？」『全部は分からなければ、表示があるので大丈夫です』



「店で働いてよかったことはなんですか？」『店で働いていて楽しいことです』などのやりとりが見られました。また、店内を案内していただきて、だれもが購入できる薬の他に病院から発行される処方箋を受ける調剤薬局の部門があり薬剤師さんが働いていることも説明をしていただけました。帰路、別のグループにも出会いましたが、満足そうな表情で帰ってきていたのが印象的でした。お忙しい中、ご協力いただきました各施設の方々どうもありがとうございました。

※どちらも地域協働学校のメンバーやサポーター、民生委員・保護者の方々が協力し付き添い安全に学習ができるよう支援いたしました。12月と2月にそれぞれ学習の成果を発表する機会があります。発表が楽しみです。

## 6年生 模擬選挙『新宿区をよりよくするための総選挙2025』

12月8日（月）6年生の模擬選挙が開催されました。はじめに新宿区選挙管理委員会事務局の方から選挙の仕組み、投票率の推移及び新宿区の条例などについて講義をしていただきました。その後、いよいよ市谷小学校6年生による『新宿区をよりよくするための総選挙2025』を実施しました。

## 各党党首演説

- ちようこく党 スローガン：「水の生物の大切さについて考える」

水の生物を守ることが、緑を増やし、自然を取り戻すことにつながる、と分かりやすく説明していました。新宿から世界へ広げていく、という党の意志が伝わってきました。

- 校舎平和主義市谷党 スローガン：「地域の人々の平和を守ろう」

いじめや仲間外れの経験が一生心に残ることに触れ、具体的な政策として「いじめ G メンの導入」と「いじめ防止法の制定」を掲げました。地域の人々の協力も得て、困っている人がいたら積極的に助けられる世の中、いじめ被害者が平和に過ごせる世の中にしたいという、党首の強い思いが伝わってきました。

- なつ党 スローガン：「いじめ、差別をなくそう」



公約を2点挙げていました。一つ目は、いじめ、差別に対する罰則を制定することで、いじめや差別への抑止力となることでした。二つ目は、ドーナツや焼き芋などおいしい物を売るお店を増やすことで、街に笑顔が増えていじめがなくなることでした。自分たちの身近な問題をよくとらえ、分かりやすい公約を設定していました。

- 光つ党 スローガン：「町のきれいさを保つ」

町が汚れていく課題を3点に絞って説明していました。一つ目はごみのポイ捨て、二つ目は路上喫煙、三つ目は空気汚染です。それぞれに「ゴミ箱を増やす」「喫煙所の設置と路上喫煙に対する厳しい罰則」「公園や建物に緑を増やす」という具体的な政策を掲げていました。自分の住む町の空気が汚れていると感じた理由は、日光移動教室に行ったときに感じた空気のすがすがしさだったという話は、体験に基づいた説得力のあるものでした。

- 清潔党 スローガン：「清潔な街づくりをしよう」

ゴキブリやネズミによる様々な被害についてとても詳しく調べていて、新宿という都会ならではの課題を掲げました。政策は、ごみ集積所を屋内にして有害生物の発生場所を集約し、駆除しやすくなるというもので、実情に即していました。

## 投票と開票

実際の選挙と全く同じ手順で投票が行われました。私語をする児童は一人もなく、神妙な面持ちで投票していました。投票立会人も3名の児童が務め、開票作業までを行いました。

## 講評

- 新宿区選挙管理委員の方から

「どの党も身近な問題を自分ごととしてしっかりとらえ、とてもよく調べていることに感心しました。実現可能な政策に結び付けている点もよかったです。」



- 新宿区明るい選挙推進協議会副会長の小島様

「法律やルールは守るものですが、それが必ずしも正しいとは限りません。自分でよく考えて、きちんと意見をもてる大人になってほしいと思っています。そのために選挙はあります。18歳になつたら必ず選挙に行ってください。」

子どもたちには、模擬選挙を通して学んだことを生かし、地域社会の将来の担い手として、これからもよりよい社会のあり方について関心をもち、意識を高めながら日々を過ごしてほしいと思います。

